



探訪 長門のい（ぶみ） ③⑤

岩穴鬼右衛門

国近久助翁顕彰碑

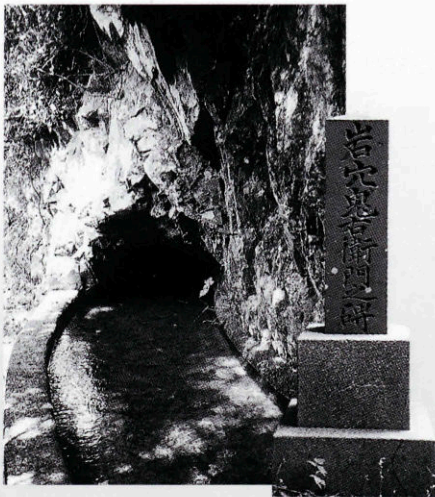
碑文（原文のまま、振り仮名は筆者）

〈碑の正面〉

岩穴鬼右衛門之碑

〈碑の背面〉

義農久助は江良の人で常に近郊の耕地の水の乏しいのを歎き之を里人に訴えたが用いられず奮然自ら鋤を揮って岩壁をうがち水を引き世人を驚嘆させ爾来岩穴鬼右工門と呼ばれるようになった安永年間のことである岩穴鬼右工門は文政十三年十月晦日死去す今茲に碑を建て其の功績を永久に傳える



深川湯本殿台を流れる深川川の本流から、東深川南部の水田

に水を引くための上井手用水路は、途中、川片山（江良）の麓の長さ約13㍎、径約1㍎の岩穴のなかを通っている。

安永（1772年）のむかし、まだこの岩穴がなかったころは、そこに箱樋を掛けて水を通していた。だが、少し大水が出ると流されたり破損したりして、村人はそのたびに修理に追われた。

江良村の国近久助は、このような村人の悩みを解消しようと、大岩をくり抜き水路を貫通させることを決意した。機械力のない当時のこと、それは途方もない発想であった。彼は村人の嘲笑を尻目にノミとツチだけで、独りこの大岩に挑んだ。

苦闘5年、岩穴の水路はついに貫通した。以来彼は、義農・岩穴鬼右衛門とたたえられる。文政11年（1828）没。83歳（碑文では文政13年没）。

昭和26年（1951）、水路を見下ろす川片山の山腹に、この顕彰碑を建立。「岩穴」は、昭和59年、市の文化財（史跡）に指定された。

（正）

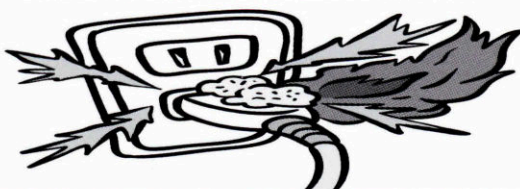
（寄稿・長門市郷土文化研究会）



こちら 119

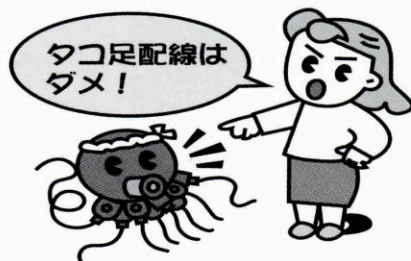
電気器具の安全な取り扱いに心がけよう

ほこりを溜めたまましていると発熱し発火する場合があります。



タコ足配線はやめましょう！

タコ足配線はダメ！



長門地区消防本部・中央消防署  
 ☎222・0119  
 火災時の問い合わせ  
 ☎222・1414